

公益財団法人佐賀市文化振興財団設立30周年記念

# 高雄有希 ピアノリサイタル in ひがしよか

溢れんばかりの才能! 天才ピアニスト高雄有希が贈る陶酔と熱狂のコンサート

2018年11月18日(日)

開場13:30 開演14:00

東与賀文化ホール  
(佐賀市東与賀町大字下古賀1228-3)

## PROGRAM

### ドビュッシー

前奏曲集第1巻より

亜麻色の髪の乙女  
アナカプリの丘  
沈める寺  
西風の見たもの

### スクリャービン

ピアノソナタ第3番嬰ヘ短調 Op. 23

～休憩～

### ドビュッシー

前奏曲集第2巻より

ヴィーノの門  
月の光のふりそそぐテラス  
奇人ラヴィーヌ将軍  
花火

### ヒナステラ

ピアノソナタ第1番 Op. 22

プログラムは演奏者の都合により変更になる事がございます。



入場券(全席自由)

【一般】2,500円 【大学生以下】1,000円

(当日各500円高)

●本公司は佐賀市文化振興財団設立30周年事業のため、特別価格での設定となっております。

●未就学児の入場は出来ません。(託児サービスはございません。)

### 【プレイガイド】

東与賀文化ホール ☎0952-45-3939

佐賀市文化会館 ☎0952-32-3000

佐賀玉屋、アートミュージック、

中央楽器モラージュ佐賀店、小川楽器佐賀店

チケットぴあ(Pコード 126-344) Tel0570-02-9999

ローソンチケット(Lコード 82564) Tel0570-084-008

チケット予約・お問合せ

東与賀文化ホール Tel0952-45-3939

E-mail higasiyokabunka@gmail.com URL http://www.shinpoo.jp/

◆主催:公益財団法人佐賀市文化振興財団

●後援:佐賀市教育委員会、工フエム佐賀

2018年度オフィシャルパートナーとして、佐賀市文化振興財団の文化事業への協賛を通じ地域文化の振興をサポートします。

西カリヨーネ

医療法人 春陽会 うえむら病院

JF 佐賀県有明海漁業協同組合

JAバンク佐賀

戸上電機製作所

RICOH

溝上薬局

大坪産業株式会社

佐賀信用金庫

松尾建設 株式会社

BCC

# Profile

## 高雄有希 (たかおゆうき)

幼児期を大学教授の父親の仕事の関係でアメリカで過ごす。早くから繊細な音に興味を示し、母親よりピアノの手ほどきを受ける。9才でデビュー。15才で入学を許可されリューベック音楽大学に留学。モスクワ、ニューヨーク、ロンドン、パリ、リューベック、ジュネーヴ、フルシャワなど欧米で研鑽を積み、レフ・ナウモフ氏、ジェイムズ・トッコ氏に師事。

- ◆第10回チャイコフスキーコンクール  
最年少16才セミファイナリスト。
- ◆第6回シドニー国際ピアノコンクール  
最年少18才 2位(聴衆賞1位)受賞。

ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアの演奏会で毎回絶賛を博す。シドニー・オペラハウスのコンサートでは2800席のチケット完売、熱狂的な当夜の模様をABCがライブ放送。また、ハリウッドボールにおけるロサンゼルス・フィルとのコンチェルトに、およそ1万7千の聴衆が熱狂する。ドイツ・ボッフムのソロリサイタルでは「鍵盤の奇蹟」「巨匠の後継者である若きピアニスト」(ヴェストトイチエ・アルゲマイネ・ツァイトゥング紙)と最大の賛辞を与えられる。

各国文化省、日本大使館の招聘(国際交流基金の後援)で行われた中米グアテマラ、ドミニカ共和国、北アフリカ・アルジェリアでの国立交響楽団との共演、ソロリサイタルは、すべての演奏会でチケットが完売、総立ちの喚声でホール中が熱狂する。これにより世界5大陸での演奏会を成し遂げる。また、スタインウェイ・アーティストの称号を受ける。

国内外での演奏活動の傍ら、東京大学文科III類を受験し合格、文学部卒業。同大学院人文社会系研究科修士課程修了。現在、東京大学大学院総合文化研究科博士課程で文学者・音楽学者として研究に従事する。表象文化論専攻。演奏会やコンクールの審査、マスタークラスで後進の指導等、その活動は多岐にわたる。

- ◆「これは神業だ! 陶酔! 恍惚! 热狂! 歴史に残る名演!」  
(ヴェストトイチエ・アルゲマイネ・ツァイトゥング紙、ディーヴェルト紙)
- ◆「信じられないプロコフィエフ・トッカータ! こんな生演奏はめったに聞けない」「彼は巨匠ホロヴィッツやリヒテルを超えた」(ザ・ウェストオーストラリアン紙)
- ◆「若いエネルギーがロス・フィルをしっかり掴んだ。真珠のように美しい詩情豊かな演奏」  
(ロサンゼルス・タイムズ紙)
- ◆「高雄有希 日本から世界へ音楽の贈りもの——民族・国境を越えて——  
彼は、この若さで既に、世界中の選りすぐられた音楽家のひとりに数えられる。」(オイ紙)
- ◆「世界が認めた天才ピアニストは、溢れんばかりの才能で、聴衆を彼の世界に引込み熱狂させた。  
モーツアルトの優雅、純粋、素朴、リストの斬新、ラヴェルの精密、豪華、鍵盤を愛撫する巧みさ、そしてドミノ倒しの豪快なグリサンド、きらびやかな、時におどけたような和音——叙事的で抒情的な構築——  
彼の演奏には、壮大なオーケストラの広がりがある。」(エル・ワタン紙)
- ◆「聴く者を熱狂させる音楽性、みずみずしい感性とファンタジーの持ち主」(毎日新聞)
- ◆「個性的で豪快、豊かな詩情を宿した表現。これほど楽譜にこだわらないで感じたままを音にしたと思える演奏は初めて」(音楽の友)



シドニー及びメルボルン・シンフォニーオーケストラとのリスト1番とラフマニノフ2番、ヤナーチェク・フィルとのプロコフィエフ2番とラフマニノフ2番、ラトヴィア国立響とのチャイコフスキーコンクール1番とラフマニノフ3番など2大コンチェルトの一夜は、観客を驚嘆させ満場の喝采を博す。